

令和6年度「チャレンジ講座」 実施期日と講義概要

国立大学法人大分大学

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要
1 (文1)	5/15 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	経済学部 総合経済学科 木村 雄一	なぜ民主的で繁栄する地域と紛争が多く停滞する地域があるのか? : 歴史制度分析と歴史学	経済学の歴史制度分析は、経済的繁栄と停滞の地域差を、市場経済の発達と民主的な政治体制の形成が相互に強化し合う「包括的」制度形成、その結果としての産業革命、逆に市場の未発達と独裁的な政治体制が相互に強化し合う「収奪的」制度形成など、国家の制度進化の違いで説明しようとする。歴史学は、16世紀以降、西ヨーロッパが奴隷を含む世界貿易を支配し、18世紀以降は植民地の収奪から莫大な利益を上げたことに根拠を求める。制度分析と歴史学の主張は整合的に理解できるだろうか?そして貧富の地域差の理由をどう説明できるか?
2 (理1)	5/29 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	理工学部 理工学科 知能情報システムプログラム 行天 啓二	人工知能概論	最近、人工知能という言葉聞く機会が多いと思います。人工知能とは、コンピュータによる学習により、人間の知能に関連する機能を人工的に実現する技術のことなのですが、具体的なイメージを持ちにくいと感じている人が多いと思います。この講義では、人間が視覚によって物事を判断する過程を例として、この過程を人工知能技術によってどのように人工的に実現するかについて、具体的に解説します。また、皆さんがこれまでに学習した/これから学習する数学の知識が、これらの技術にどのように関わるかについて紹介します。
3 (文2)	6/19 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	福祉健康科学部 工藤 修一	社会福祉・ソーシャルワークへの誘い (いざない)	人はみな「幸福」を求めて生きています。そして、得られた「幸福」は、決して自分の努力だけで導かれたものではなく、常に何らかの社会的作用が影響しています。これからしたときに、何らかの「不幸」も、社会的サポートによって解決、緩和することができるということになります。社会福祉やソーシャルワークの主たる機能は、「幸せづくりのサポート」です。この素晴らしい職業に高校生のみなさんも触れてみませんか?
4 (理2)	7/3 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	大分大学理事・副学長 杉尾 賢二	生命の基礎となる遺伝情報と、遺伝子病であるがんの話	命とは未だに神秘です。しかしながら、生命のもととなる遺伝情報 (DNA、RNA、など) については、かなり解明されてきました。その解析技術の進歩は著しく、近年、これらの遺伝子解析により、多くの病気の原因が解明され治療法が開発されてきました。その一つが、癌 (がん) です。がんは、遺伝子の変化によって引き起こされる遺伝子病ですが、がんの治療も遺伝子を基本に開発されて、その治療効果は格段に向上しています。遺伝子とがんの話をわかりやすく説明したいと思います。加えて、医師になるまでにどういう道筋があるかも紹介します。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要 (200～250 字程度)
5 (文3)	7/17 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	経済学部 総合経済学科 河野 憲嗣	通貨のイノベーションによる地域活性化を考える：地域通貨の課題と可能性	地域通貨という言葉を知っていますか？普段使っている千円札や百円玉と同じようにお菓子や雑誌を買うことができる地域通貨があれば、ボランティアをした対価として受け取り、あとで行政のサービスなどを利用するときには使えるものまで様々な種類があります。 講義では、地域通貨の特徴や現状を確認しながら、地域通貨が経済活動にもたらす効果や可能性についてお話します。その上で、地域通貨を身近なものとして利用するためにどうすればよいのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。
6 (理3)	8/21 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	医学部看護学科 佐藤 祐貴子	エビデンスに基づく安全・安楽な看護技術	看護学は、個人、家族、地域社会に生じる健康にまつわる事象について、確かな根拠をもとに判断と推論を用いて実践を説明する知識体系です。実践で用いられる看護技術は、看護の対象となる人々の安全・安楽を保証しながら、看護の専門的知識に基づいて提供される技であり、またその体系を指します。今回は、身体を自由に動かすことのできない対象者に対するポジショニング・体位変換の看護技術についての基本的知識と、大学での演習の実際の様子から、技を習得していくプロセスの理解を目指します。さらに、ポジショニングに関する研究の内容から、確かなエビデンスに基づく理論と看護実践へ還元される知識体系の蓄積についてお伝えします。
7 (文4)	9/18 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	教育学部 初等中等教育コース 向井 隆久	心理学で覗いてみよう！不思議な世界＝子どもの世界	心については、とても身近によく知っているようで、まだまだ分からないことがたくさんあります。私たちの心はどのように出来上がっているのか。この問題にアプローチするため、心の成り立ち（成長・発達）を明らかにしようとするのが発達心理学です。本講義では、心の成り立ちの初期にあたり、不思議なことが多い乳幼児期の心理的特徴についていくつか紹介します。子どもたちが成長過程で様々なことを学ぶ姿から、学びや教育について一緒に考えていきましょう。発達心理学を学ぶことや、研究することの面白さ、問うこと重要性に触れてください。
8 (理4)	9/25 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	理工学部 理工学科 物理学連携プログラム 近藤 隆司	コンピュータで学ぶ	学校教育等にコンピュータが取り入れられて久しいですが、コンピュータ自身の利用方法を学ぶプログラミング教育は別として、国語、数学、英語などの通常の科目でコンピュータをどの様に利用すべきかという点は、今のところ明確な答えがありません。私自身も、ひょんなことから e-Learning に関わり始めたその当初、紙上の教育と比べて e-Learning では、可能なことがあまりにも少ないということを知って、それ以来、コンピュータ上で可能なことを広げるべくコードを書き進めてきました。この講義ではこれまで書いてきた教材とそれを動かすシステムについてお話したいと思います。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要 (200~250 字程度)
9 (文5)	10/16 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	経済学部 総合経済学科 甲斐 智大	インタビュー調査の基礎：社会調査を楽しむコツとは？	<p>様々な地域課題を抱える現代社会では社会調査の必要性が広く認められるようになった。社会調査による地域の実態解明は地域課題の解決の糸口となる。しかし、社会調査の盛行とともに、調査環境の劣悪化や調査公害が課題となっている。そのなかで社会調査を実践するには社会調査の意義を理解し、その方法を身に付ける必要がある。</p> <p>そこで、本講義では社会調査を行う意義と社会調査の手法を整理する。そのうえで、社会調査の一つの手法であるインタビュー調査の方法について解説し、インタビュー調査の方法を体験的に習得することを目指す。なお、本講義ではペアワークを実施する場合があります。</p>
10 (理5)	10/30 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	理工学部 理工学科 機械工学プログラム 加藤 義隆	高校の勉強は何に使う？プリンと低温熱源利用技術で紹介します	<p>キャラメルソースの調理は下手すると熱々のソースが飛び散り危険です。「あとがけキャラメルソース、はねない、とろりと流れる、簡単」という動画は、YouTubeのおおいたジュニアラボで視聴可能ですが、石炭ガス化の研究のスキルを応用したもので、高校の物理と化学が関わります。では三角関数とかベクトルは？ホームワイドで買える工具と材料で作る「お湯で動く機械」、工作は小学生でも可能ですが、設計には三角関数とベクトルを使います。脈絡なくプリンと「お湯で動く機械」を扱いますが、色々扱うのが機械工学です。</p>
11 (文6)	11/27 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	福祉健康科学部 増田 成美	ようこそ心理学の世界へ	<p>「心理学」と聞いたときに、どのような学問だと想像するでしょうか。広義には人の心や行動について学ぶ学問といえますが、心理学は様々な分野に分かれています。それは、認知心理学、発達心理学、社会心理学、性格心理学、学習心理学、臨床心理学...など非常に幅広く、日常生活のあらゆる側面に心理学が関係しているといえます。本講義では、心理学の各領域について概観し、心理学の知見にふれてもらいます。そして、臨床心理学領域においては心理士の働きと心理支援について概説し、自身の心の健康の維持について考えたいと思います。</p>
12 (理6)	12/4 (水) 16.30-17.30 経済学部203号または教員研究室	福祉健康科学部 菅田 陽怜	人は勉強や練習をするとなぜ上達するのか？—脳科学的な視点から考えよう—	<p>一生懸命に勉強したり、部活での練習を繰り返す行うことで、成績やパフォーマンスが向上した経験のある人は多いと思います。では、なぜ人はトレーニングによって上達するのでしょうか？また、どんなタイミングでヒトは上達するのでしょうか？このような疑問について、近年の脳科学的な研究報告を交えて考えてみたいと思います。</p>

	日時・場所	講師名	講義題目	講義概要 (200～250 字程度)
1 3 (文7)	12/18 (水) 16.30-17.30 経済学部20 3号または教 員研究室	教育学部 特別支援教 育コース 古長 治基	これって差別？ 差別じゃない？ 知ることから始 める「合理的配 慮」	障害者差別を解消するための法律が整備され、社会は差別をしないことが求められている。差別をしないなんて当たり前、でも差別って？平等って？なんか難しい。色々考えると、面倒くさいなあという気持ちになっていくかも。ならば正しく理解することから始めよう。キーワードは「合理的配慮」。 この講義では障害のある人が今の社会を生きるうえで何に障害されているのかを考えます。そして、皆さんが適切な配慮を自然と行うために必要なことを学んでいきます。この講義をきっかけに、皆さんが障害のある人との関わりをもっと楽しめるようになることを期待しています。
1 4 (理7)	1/15 (水) 16.30-17.30 経済学部20 3号または教 員研究室	理工学部 理工学科 生命・物質 化学プログ ラム 檜垣 勇次	分子間力と表面張 力	私たちが日常で目にする物質は全て原子や分子の集合体です。何より私たち人間を構成しているのはおよそ40兆個の細胞であり、数百万種類の分子が数百億から数兆個集まって1つの細胞ができていと言われています。この究極ともいえる分子集合体は、分子が互いに引き合い、支え合い、反発し合うことで成り立っています。この分子間に働く力(分子間力)について、水と油の分離のような簡単な事例から紐解きます。また、高分子の液-液相分離に関する講師の研究についても少しご紹介します。
1 5 (文8)	1/29 (水) 16.30-17.30 経済学部20 3号または教 員研究室	経済学部 総合経済学 科 大井 尚司	くらしと地域を 支えるひと・も のの移動を考え る	本学経済学部には、日本の国立大学文系学部にはいまや2つしかない「ひとの移動(交通論)」と「ものの移動(物流論)」の講座・講義が存在しています。いかに情報通信技術が進歩しても、ひと・ものの移動なくては我々の生活は成り立ちません。 今回の講義では、「ひとの移動(交通論)」と「ものの移動(物流論)」で何を扱っているのかを紹介します。そのうえで、私のゼミで行った取り組みや社会問題を紹介しながら、「移動」が地域や我々のくらしをどのように支えているかについて、一緒に考え、理解してもらえきつかけになればと考えています。
1 6 (理8)	2/19 (水) 16.30-17.30 経済学部20 3号または教 員研究室	理工学部 理工学科 建築学プロ グラム 柴田 建	21世紀のアーバ ンデザイン：車 の都市から人の街へ	建築学は、個別の建物のみではなく、その集合体である都市についても構想しデザインを行う学問です。20世紀の都市は、自動車を中心に計画されてきました。しかし、21世紀になって、人の居場所としての賑わいなどを重視する新しい都市のデザイン(アーバンデザイン)が世界中で取り組まれています。福岡・大分各地での人の賑わいを生み出すまちづくりの実践を紹介した上で、私たちが普段訪れる大分駅前などのまちなかの今後について、一緒に考えたいとおもいます。